

# おまえざき地域連携室だより

市立御前崎総合病院地域連携室発行

TEL 0537-86-8511(代表)

0537-86-8852(地域連携室)

FAX 0537-86-8853(地域連携室)

H18.9.1 第1号

大変暑い毎日が続いておりますが、みなさまにおかれましてはご健勝のことと存じ上げます。当院地域連携室には、いつもご理解ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。平成18年度より新メンバーでスタートしました地域連携室では、このたび初めて「おまえざき地域連携室便り」を発行することになりました。

皆様とのよりよい連携を目指して今後もよりいっそう努力いたしますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

## 連携室便り発行にあたって

御前崎の院長室の窓より



院長  
大橋弘幸

今年の4月より市立御前崎総合病院に赴任して、慣れない院長職を努めています。まだ、患者さんを診察する医師でありたいとの思いが強いので、なかなか管理職はつらい所があります。本院は、交通の便が悪い丘の上に建った病院で、患者の皆様には通院にご不便をかけます。

私の日々の診療は、コメディカルのみなさんに助けをもらって、リウマチ・膠原病や糖尿病患者を少しでもよい状態にしたいと思って診療しています。特に関節リウマチに関しては、早期に発見して治したいと思って診療しています。現在、少しずつ患者さんが増えてきていますが、多くの合併症を持った車椅子でやってくるリウマチ患者さんも多く、内科全般を診療しないといけないと思う日々が続きます。

この地に赴任して医師不足と危機的な救急医療の問題に私のみでなく近隣の病院長も悩んでいる事を知りました。医者としては、病院に来院する患者さんを診療するのは当然の使命ですが、医師不足のため医師にかかる負担が余りに大きすぎて、もはや毎日全ての救急患者を引き受けられなくなってきています。当院も整形外科や小児科が非常勤医師ですので、せっかく本院まで来ていただいても、本院のみでは対応できずに他院へ紹介する事があります。

このような状況は、私がずっと信じてきた医療とは異なり、困惑と悲しみを私たちに与えます。いつでも誠実に一生懸命に診療したいと多くの医師は考えています。私は、何とかこの病院を魅力があり、やりがいのある施設にしたいと思っています。そのためには、若い先生方に指導や教育ができる施設にしたいと考えています。しかし、道は遠く険しいと思います。

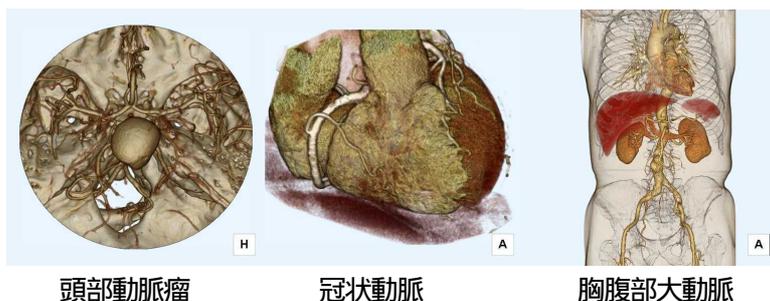
# 地域連携室からのお知らせ

## 1. 開放型病床を開始します

地域医師会先生方のご協力をいただき、当院でも開放型病床を開始することになりました。  
ご利用方法は、後日資料とともにお知らせいたします。よろしくお願いいたします。

## 2. 画像診断科より

当院の64列マルチスライスCTはガントリーの開口径が72cmと広く、テーブルもフロアの30cmまで下がり、又テーブル自体も47cmと広く患者様のベッドの乗り降りがスムーズになると共に、高齢者などの足腰に不安がある方にもやさしく事故が未然に防止しやすくなっています。1回転0.4秒前後の高速回転で最小0.5mmきざみの64枚のデータを得ることが可能で、撮影では頭部が5秒、胸部が7秒、腹部では10秒で行なうことが出来、心臓でも約12秒です。コンピュータ処理により三次元画像での立体的な画像の表示も可能で病変の位置や状態の把握が分かりやすく、病病連携、病診連携に利用していただいています。



## 御前崎市総合福祉センター・老健施設入所のご案内

当施設では介護度1～3の障害老人日常生活自立度ランクB（車イス生活あるいはベット上生活が主体）まで、そして認知症老人の日常生活自立度は a（日中介護を要する認知障害症状を呈する）までの患者様で医療の必要度が少なくリハビリ（運動そして認知症に対して）を必要とする患者様の入所を受け付けています。

## 地域連携室のメンバーは、私たち4名です



平成18年度から、新しいメンバーで稼働しております。  
不備な点多々あると存じますが、よろしくお願いいたします。

前列、太田優子(連携室長兼副看護部長)  
後列、左から、森山尚美(事務)、清水久子(事務)  
横山佐知子(医療ソーシャルワーカー)

書面についてのお問い合わせがありましたら、地域連携室までご連絡をお願いいたします。